

平成31年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
国語	2・東書 新しい国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉を通して、適切に表現し正しく理解する能力と伝え合う力を高めるために、「読むこと」の領域の教材を中心として構成しつつ全領域を偏りなく扱い、「学習の手引き」で交流活動を位置付けるなど配慮されている。</li> <li>○ 思考力や想像力、表現力及び言語感覚を養うために、発達段階に応じた思考力を養う教材の設定や、語彙を拡充し定着させる言語教材の系統的な位置付けに配慮されている。</li> <li>○ 国語に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てるために、伝統的な言語文化の作品を小教材「日本の言の葉」、また、2年生以上には、「日本語のしらべ」が配置され、日本語の美しさに触れる工夫がなされている。</li> <li>○ 取り上げ教材と関連のある図書を紹介するなど読書への広がりや充実にも配慮されている。</li> <li>○ 日常生活に必要とされる対話、記録、報告、要約、説明、感想などの言語活動を行う能力を身に付けさせるために、言語に関する事項を単元後や付録で繰り返し「言葉の力」として明示し、各教科等にも活用できる言語能力の定着を図る工夫が見られる。</li> <li>○ 関心・意欲を高め、主体的な学習を促すために、新聞や広告など生活と関わりのある題材を活用しそれらを読み比べる学習により、言語能力を各教科等へ生かせるような工夫が見られる。</li> <li>○ 相手や目的に応じて、調べたり考えたりしたことを、表現する能力を身に付けさせるために、学習の手引きで既習事項や学習の過程を示すとともに、単元末のページに確認と振り返りを設定する</li> </ul>

		<p>ことで表現力の定着を図る工夫が見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 単元を貫く課題に応じて学習に取り組めるような活動が設定されている点や、「つながる」「ひろがる」を設けて既習事項の振り返りや発展に向けて配慮されている。</li><li>○ 見開き一面の写真や広告ちらしの例の掲載など、内容の理解や学習意欲の喚起に役立つ視覚的な資料が随所に示されている工夫が見られる。</li><li>○ 1～4年は上下巻二分冊、5～6年は学年一冊の合本である。折り込みページが多く取り入れられ、児童の興味・関心を高めるよう配慮されている。</li></ul>
--	--	---